

平成29年度社会福祉法人かえつ福祉会事業報告

(平成29年4月1日～平成30年3月31日まで)

【かえつ福祉会理念】

わたしたちは「いつでも、どこでも、誰でもが安心できるケア」を提供し、地域住民と利用者とともに安心して住み続けられるまちづくりの実現を目指します。

【施設運営理念】

- 利用者の立場に立ち人権を尊重した運営を行います。
- 医療との連携を強め、障害があっても最後までその人らしく暮らせる施設を目指し、利用者とそのご家族が納得できるように支援します。
- 利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります。
家庭的な雰囲気の中かで一人一人の個性や生活のペースを大切にした健康的な生活と、利用者が相互に社会的関係を築き、自立と自由を大切にしたい日常生活が送れるよう支援します。
- 利用者が地域の一員として地域や家族との結びつきや交流を大切にして、安心して暮らせるように支援・活動をすすめます。
- 地域に開かれた施設として地域の声に耳を傾けながら、人の集う場の提供や多様な機関等と連携・協働する、地域とともに発展する組織を目指します。

【法人概要】

法人名	社会福祉法人かえつ福祉会
代表者名	理事長 五十嵐 修
主たる事務所の所在地	新潟市秋葉区東金沢 1459 番地 5
認可年月日	平成24年10月25日
設立登記年月日	平成24年10月26日
役員数	理事6名、監事2名、評議員8名

【事業】

- ① 特別養護老人ホームあがうら
- ② 特別養護老人ホームあがうらショートステイ

【職員総数】

84人(平成30年3月31日現在)

【事業総括】

平成29年度は、社会福祉法人制度改革に伴う新定款に基づき、新たに評議員会を設置し、新評議員8名を加えて、経営のガバナンス強化、事業運営の透明性の向上に努めました。

7/28新潟市による「社会福祉法人制度及び指導監査に関する説明会」での内容から、規程、運営の整備をはかりました。

事業は①特別養護老人ホームあがうら ②特別養護老人ホームあがうらショートステイを行い、2017年度施設事業方針に沿って運営をすすめました。

1. 利用者の視点に立ち、入所・入居者、利用者のサービスの向上、地域の一員としての交流を深めます。

2016年秋より昼食の主菜、2017年5月より夕食の主菜のソフト食提供がされました。今年度新たに、10月ボランティア懇親会に18名の参加、1月にあがうら便りの地域回覧を阿賀浦コミ協5町内の協力を得ておこなうことができました。回覧地域をさらに広げていきます。

2. 介護の質・業務改善の視点に立ち、ケアの質の向上に努めます。

新たに2作業チームを設置。排泄チーム（阿賀野）は、毎月会議を実施し、個別の適性なパットの選定、適性な交換時間に改善できました。ケアマネ会議は、ケアプランの流れ、サービス担当者会議・ケアカンファレンスの流れのマニュアルを作成し、ケアプランの学習会でケアチェックによる課題抽出について深めました。毎月の全入居者のケアチェックを目指します。水害時、地震時の避難訓練マニュアルを見直し、机上訓練を実施しました。次年度は実地訓練をすすめます。

3. 技術建設・人材育成、成長の視点に立ち、民医連職員の育成をすすめます。

年1回以上の全職員面接を9割に実施できました。全ユニットで事例のまとめに取り組み、県連介護職部会での事例発表（9月）、学術運動交流集集会への演題発表（4月）を行いました。生活の場ならではの食事への個別ケア、拘束解除への取り組みなど、発表会を通じ「施設理念」「民医連の介護福祉の理念」を深めました。

外部研修139名、毎月行う施設内学習会は毎月実施延べ12回253名参加しました。

新設した、腰痛対策チームは腰痛予防体操の学習会と推進月間に取り組み、経費削減チームは水光熱費の見える化、洗濯機の節水対策、除菌シートの変更に取り組みました。

4. 地域や社会とともにの視点を深めます。

秋葉区短期入所系サービス事業所情報交換会への参加、民医連内の連携会議への参加を通して、地域との情報交換や連携を強めました。

民生委員さんから、あがうら便りの地域回覧や施設見学など、地域の方が施設を知る機会を増やす取り組みの強化をと助言を得ました。あがうら祭りや文化祭などを町内回覧でお知らせしたり、新たに学童クラブとの交流を図りました。理事が秋葉区内での子供食堂の運営に係り、地域貢献活動を進めています。

地域での高齢者の要望を聞き取りは今後の課題です。

5. 健全な経営収支を確保します。

特養入所・居者入院延べ日数が2004日と、昨年より160日減となり、在園率93.5%。前年より0.6%増加で、予算を達成しました。ショート稼働は70%で、予算の75%に達せず、利用率の向上が課題です。